□□□□□□□□□□□□□□□□


SHIMANO

□□□□□□□□□□□□□□□



ハブの穴にスポークを付けていきます。
まずは、片側１８本から。



□□□


PUSH
RECYCLE

□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□



反対側の為に、リム穴を一つ飛ばしで取り付けます。



１０分くらいで仮留めができました。



反対側も一気に仮留めしていきます。

この作業でどれくらい締め付けたらいいのか不安になりながらもニップルを裏からマイナスドライバーで
「回せるだけまわす」という基準で一旦全部揃えました。

たぶん、ココが揃ってないと縦振れの原因を作ることになるかと。縦振れを取るのはやっかいなので、ニップル回しで
本格的に締め付けて行く前にニップルの位置を揃えました。



放射状にのびるスポーク。シンプルな見た目。

ラジアル組みにしてよかったかも。



ここからは、ニップル回しで均等に締め付けていきます。締め付ける感じは・・・

勘！！



たまにリムのセンターを確認しながら締め付けていきます。

手の感触とニップルを締め付ける時の抵抗をたよりにガンガン締め付けて（る気持ちで・・・）行きます。



フロントハブは、左右対称だと思うので、片方を計測して、もう片方と同じ位置になればセンター出しオッケ－！



ある程度、振れが取れた段階でスポークテンションをはかりましたが、このツールで５５という数値になっておりました。

５５ｋｇｆという値らしいですが、

付属の換算表を見ると、適正な範疇でちょっと柔らかい感じに
仕上がりました。ニップルの抵抗具合をみてるとこれ以上回すと
ニップルがナメてしまいそうな予感がするので、
一旦この状態でタイヤを入れて走ってみよう！

組み立てなので、ちょっとプレッシャーをかけてみて、
初期のびを取ってあげます。

このあたりは、ワイヤー類と同じですねぇ。

明日になったら、テンションが変わっているかもしれないので、再度テンションメーターで測ってみようと思います。



最後に、余ってたリムテープを取り付けて・・・



完成！！！

３６本のスポーク、やっぱり多いですねｗ

でも、クラシカルな放射状のラジアル組みはキレイです！！

これに、３２Cのコンチネンタルのゲータースキンを取り付けますから、ホイールの硬さが分かるんだろうか？

２つあるCXP33の１つを使いました。もう一つはまた壊れた時のための保守パーツにしようと思ってます。

組み立てるのに要した時間は、２時間！！

そろそろ自転車屋さんが出来るのではないでしょうかｗ
次回は、取り付けて実際に走らせてみましょう！

壊れませんように・・・

では～